留学するのに何を持っていき、何を後から送ってもらえばいいか。送ってもらうには結構なお代を取られるので、理想はなるべく持っていきたい。だが、重量制限もあるし、何より重すぎる荷物は心配……。難しい問題であるが、基本、パスポート、交通のチケット（航空券、乗り継ぎのバスなど）、当座の資金（キャッシュで300ユーロほど、VISAかMastercardのクレジットカードもあるともっとよい）、大学の受け入れ許可証、海外旅行保険があればなんとかなるはずである。シャンプーや化粧品など洗面具、衣類、スリッパや爪切りなど雑貨は、送ってもらってもいいし、ドイツで買ってもいい。それでも、ドイツに、日本からぜひ持って行ったほうがいいものがいくつかある。

1. ノートパソコン（ウルトラブックが望ましい）
2. インターネットケーブル
3. 変換プラグ
4. SIMフリースマホ
5. 折り畳み傘
6. ドイツ、ヨーロッパのガイドブック
7. ヒートテック（あるいは準ずる肌着）
8. ノートパソコン

あなたにいくらたくさん友達がいようと、ノートパソコンこそ、あなたのチュービンゲン生活で最も頼れるパートナーである。レポートを書くときも、SNSをチェックするときも、ネットサーフィンをするときも、ノートパソコンがなくてははかどらぬ。ウルトラブック（薄い、軽い、小さめのノートパソコン）を推奨しているのは、単純に持ち運びが楽だからである。ドイツでは相変わらず、どでかいノートパソコンをずしずし持ち歩いている学生が多いが、そういう呪いをかけられているのではない限り、ウルトラブックにするべきである。

日本製はもちろん、中国・台湾製で良いものが安く手に入るのが日本であるから、その立場を積極的に活用しようではないか。僕も留学直前に、ソニーの公式オンラインアウトレットで型落ちのウルトラブックを買い、それをずっと使っている。

1. インターネットケーブル

時代はWiFi……だけれども、チュービンゲンの多くの学生寮（WHO含む）ではインターネットケーブルがないとインターネットにつなげられない。なので、留学初日からネットライフを満喫したいのであれば、あらかじめ持っていくしかない。

1. 変換プラグ

ドイツの家庭用電圧は220－230Vで、日本は100V。昨今の多くの電子機器はAC100－240V（どこかに表示されているはず）なので、変圧器は基本的にはいらない。ただ、コンセント（この和製英語は全く通じないので、英語のOutlet、ドイツ語のSteckdoseは覚えていこう）プラグの形が違うので、できれば複数個のCタイプの変換プラグを持参するとよい。

1. SIMフリースマホ

ドイツで携帯電話を買っても全く構わない。がしかし、もしあなたが日本にいたときと近い感覚でスマホを使いたいのであれば、SIMフリースマホを買うしかない。ドイツは（てか日本以外はたいてい）SIMカードをSIMフリー携帯に挿して使うのが普通であり、日本で契約した（SIMロックされた）携帯は使えない。それは、WiFiがないときは、ただのカメラ＋目覚まし機能付き文鎮である。幸い、日本でもようやくSIMフリー化が進んできており、パソコンと同じく機能が良く価格も手ごろな商品がそろっている。そしてここが肝心だが、日本では技適マークといって、認証された携帯しか使用が法的に許可されていない。なので、ドイツで携帯を買った場合、それが日本で流通している商品でない以上、技適マークがついておらず、日本に帰った時に使えない（使えるが、違法である）。なので、どうせ日本で流通している携帯を買うなら、日本で買っとこうぜという話である。

1. 折り畳み傘

ドイツめっちゃ雨降る。僕がドイツ着いた日も雨だった。絶対に持って行ったほうがよい。現代の科学では、あなたを雨から守ってくれるのは傘と屋根だけである。

1. ドイツ、ヨーロッパのガイドブック

どれだけあなたがドイツの田舎町で勉学に励む決意を固めていても、春休み、夏休み、冬休みはやってくる。仮に仕事で長期休暇がなくとも、周りの人たちがUrlaubでヨーロッパ諸国に出かけていくのを、指をくわえてみているのはメンタル上よくない。折角ヨーロッパに来たのだから、旅行しなきゃである。とはいえ、ヨーロッパには無数の観光地があるので、どこに行くか迷ってしまう。そんなとき、ガイドブックは大いに役に立つ。インターネットより手軽に参照でき、持ち運べるので、これがあると留学生活の充実度がぐーんとあがるであろう。

1. ヒートテック（あるいは準ずる肌着）

ドイツは寒い。基本寒い。なので、ヒートテックのような肌着は、ドイツ人のような大きな体積と厚い脂質を持ち合わせていない、かよわい我々には必需品である。ドイツにも無印やユニクロはあるが、ベルリンなど大都市しかなく、チュービンゲンにはない。なので、持ってきた方が安全である。送ってもらってもよいが、僕のドイツ最初の夜、6月なのにあまりに寒く、毛布にくるまってがたがた震えていた経験を踏まえると、軽くて自分を温めてくれるものは持ってきた方がよいと思われる。